



ふるさと笠松の

ちょっといい話

平成30年6月吉日

No.139

あいさつを通して心を磨く

平成30年度 第1回笠松町あいさつ運動

6月20日（水）から22日（金）までの3日間、今年度第1回目の「笠松町あいさつ運動」が実施されました。この運動は、今から9年ほど前に笠松中学校生徒会が主体となって始まり、道徳のまち笠松推進会議や笠松町青少年育成町民会議のメンバー、各学校の児童・生徒や先生及びPTA会員、笠松町職員、町内の多数の有志の方が支援して行われています。

今年度の「笠松町あいさつ運動」を行う前に、笠松中学校生徒会執行部と道徳のまち笠松推進会議役員及び町青少年育成推進会議役員とでランチミーティングを開催し、あいさつ運動の主旨や込められている思いについて再確認をし、運動がより広がり高まるように考えました。あいさつ運動当日は、中学生の参加数がこれまでよりも増え、心のこもった挨拶の音が響き渡りました。

各小学校の校門や玄関では、登校してきた児童と中学生や地域の人々の間で、ハイタッチを交えた明るく元気な挨拶が交わされました。また笠松駅では、岐阜工業高等学校の生徒も参加し、駅を出入りする人々と挨拶が交わされました。さらに、小中学生の通学路のあちらこちらで挨拶を交わす姿がたくさん見受けられました。

中学生の一人に、運動に参加しようと思った気持ちを訪ねてみると、「自分の心を磨き、極めるため」という答えが返ってきました。自信をもってこのように答えられる生徒がいることに感心しました。

このあいさつ運動をきっかけにして、さらに地域でのあいさつの輪が広がることを願っています。挨拶を交わし合い、地域での顔見知りが増えることが、支え合えるまちづくりにつながると思います。

次回のあいさつ運動は11月と来年2月に予定されています。運動の時だけでなく、日頃からの挨拶を意識し、笠松人の心を磨きたいものです。



取材を終えて…笠松町は日頃からよく挨拶が交わされている町だと思います。地域のつながりができている表れです。地域での関わりが浅い人にも、温かい言葉かけをしていきましょう。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）

連絡・問合せ・情報提供は…笠松町中央公民館（TEL388-3231）まで

